

ashitano

# 住まいるシナビ

～希望を叶える間取りのポイント～

住む人の豊かなつながりを生む  
「抜け感」のある居場所づくり

家での時間の多くをLDKで過ごす現代にあつては、つかず離れずの家族の距離感を保てる「居場所」づくりが重要です。縦空間を生かした多層構造で、変化のある間取りを実現するスキップフロアなら、家族の時間をもっと豊かなものにしてくれます。例えば下の写真の事例では、ダイニングから数段上がった中2階にリビングスペースを配置。目的ごとに空間を分けながらも、ふと視線を動かせば家

族の気配を感じ、言葉を交わせるひとつながりの空間に。さらにその奥に緑の借景を生かした開口を設けることで、外への抜け感も感じられる居心地の良いLDKを実現しています。

ほかにも、おもちゃ



を自由に広げられる子どもスペースや、持ち帰った仕事ができるパソコンスペース、本棚を設けてゴロゴロしながら読書できる畳コーナーなど、用途は多彩。家族みんなが自由な時間を楽しみつつも、視界の「抜け」を確保することで、家族の気配を共有できます。スキップフロアがない場合でも、小上がりの和室を作る、ダイニングの一角にカウンターテーブルを設けるなど、リノベーションの工夫で「居場所」作りを検討してみるのもいいかもしれませんね。

profile

株式会社ジューケン  
代表取締役

吉川 富志夫さん

土地の条件や住む人のライフスタイルに合わせ、デザインや居心地の良い住まいをつくる建築家



▲キッチンからスキップフロアにいる子どもの様子もよくわかる

▶スキップフロアにDJブースを設置。音楽がLDK全体に広がる

